

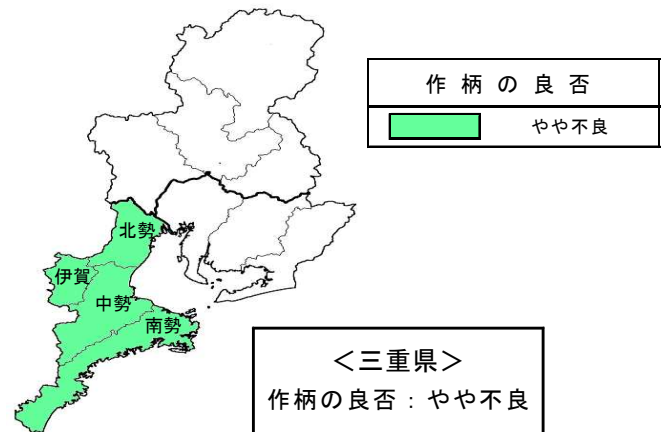
令和元年産水稻の 8 月 15 日現在における 作柄概況及び生育状況

— 三重県の作柄は「やや不良」、岐阜県及び愛知県の
生育は「平年並み」の見込み —

【調査結果】

- 1 早場地帯である三重県の作柄は、
「やや不良」と見込まれる。
これは、7 月上旬から中旬の日照
不足、台風第 10 号による倒伏がみら
れることから、登熟は平年に比べや
や不良と見込まれるためである。

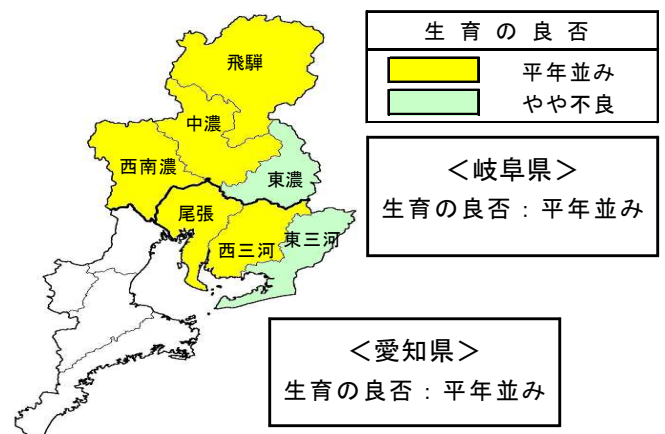
図 1 早場地帯の作柄の良否



- 注：1 地図上の白抜きの県は、遅場地帯を表す。
2 本図で用いた作柄の良否の表示区分は、「やや不良」が対平年比 98～95% に相当する。

- 2 遅場地帯である岐阜県及び愛知県の
生育は、7 月上旬から中旬の日照
不足の影響がみられるものの、「平
年並み」で推移している。
岐阜県の東濃、愛知県の東三河地
帯の生育は茎数がやや少なかったこ
と等から、「やや不良」となったも
の、他の地帯では「平年並み」で
推移している。

図 2 遅場地帯の生育の良否



- 注：1 地図上の白抜きの県は、早場地帯を表す。
2 生育の良否は稲体の生育状態を調査したもので、作柄を予測したものではない。

○ 作柄は、その後の気象が平年並みに推移するものとして予測を行った。したがって、
今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

本資料は、東海農政局Webサイトの「農林水産統計」から御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/tokai/tokei/kohyo/index.html> 】

◎ 用語の解説

- ・ 早場地帯とは、8月15日現在の出穂済面積割合が平年ベースでおおむね8割以上を占める道県であり、東海3県では三重県が該当する。
- ・ 遅場地帯とは、早場地帯の道県以外の都府県であり、東海3県では岐阜県及び愛知県が該当する。

◎ 水稻調査結果の主な利活用

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業における共済基準収穫量算定のための資料

◎ 累年データ

水稻（子実用）の年次別推移

1 東海3県

年 産	作付面積 (子実用)	10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	参 考	
				主食用作付面積	収 穫 量 (主食用)
	ha	kg	t	ha	t
平成21年産	86,800	481	417,400	86,000	414,000
22	86,900	492	427,400	85,800	421,900
23	85,200	495	421,700	84,400	417,700
24	84,800	504	427,100	83,800	421,600
25	85,300	511	435,700	83,300	425,900
26	82,900	493	408,700	80,900	398,300
27	78,900	492	388,200	77,000	378,800
28	77,500	511	396,300	75,600	386,500
29	76,700	494	379,200	74,900	369,700
30	77,600	493	382,500	75,300	371,200

資料：農林水産省統計部『作物統計』（以下4まで同じ。）

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である（以下4まで同じ。）。

2 10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である（以下4まで同じ。）。

3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である（以下4まで同じ。）。

2 岐阜県

年 産	作付面積 (子実用)	10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	参 考	
				主食用作付面積	収 穫 量 (主食用)
	ha	kg	t	ha	t
平成21年産	24,700	460	113,600	24,700	113,600
22	24,900	475	118,300	24,700	117,300
23	24,600	485	119,300	24,500	118,800
24	24,600	492	121,000	24,400	120,000
25	24,700	495	122,300	24,300	120,300
26	24,100	482	116,200	23,500	113,300
27	22,500	481	108,200	22,100	106,300
28	22,200	486	107,900	21,700	105,500
29	21,900	488	106,900	21,500	104,900
30	22,500	478	107,600	21,500	102,800

3 愛知県

年 産	作付面積 (子実用)	10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	参 考	
				主食用作付面積	収 穫 量 (主食用)
	ha	kg	t	ha	t
平成21年産	31,100	499	155,200	30,800	153,700
22	31,000	497	154,100	30,600	152,100
23	30,300	510	154,500	30,000	153,000
24	30,100	510	153,500	29,600	151,000
25	30,300	519	157,300	29,500	153,100
26	29,300	504	147,700	28,400	143,100
27	28,100	503	141,300	27,200	136,800
28	27,700	521	144,300	26,900	140,100
29	27,500	512	140,800	26,600	136,200
30	27,600	499	137,700	26,700	133,200

4 三重県

年 産	作付面積 (子実用)	10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	参 考	
				主食用作付面積	収 穫 量 (主食用)
	ha	kg	t	ha	t
平成21年産	30,900	481	148,600	30,500	146,700
22	31,000	500	155,000	30,500	152,500
23	30,300	488	147,900	29,900	145,900
24	30,100	507	152,600	29,700	150,600
25	30,200	517	156,100	29,500	152,500
26	29,500	491	144,800	28,900	141,900
27	28,300	490	138,700	27,700	135,700
28	27,600	522	144,100	27,000	140,900
29	27,400	480	131,500	26,800	128,600
30	27,500	499	137,200	27,100	135,200

【統計表】

1 令和元年産水稻の田植及び出穂の状況（8月15日現在）

区 分	田 植 期					出 穂 期					出穂済面積割合	
	始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較		始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較		当 年 値	対 平 年 差
				対平 年差	対前 年差				対平 年差	対前 年差		
	月 日	月 日	月 日			月 日	月 日	月 日			%	ポイント
岐 阜 県	5. 2	5. 28	6. 11	並 み	並 み	7. 20	…	…	…	…	48	△ 1
西 南 濃	4. 28	6. 3	6. 18	並 み	並 み	7. 18	…	…	…	…	23	△ 1
中 濃	5. 3	5. 22	6. 4	並 み	2日遅	7. 18	8. 8	…	1日遅	4日遅	62	△ 2
東 濃	5. 3	5. 16	5. 28	1日遅	並 み	7. 23	8. 4	…	1日遅	3日遅	88	0
飛 騨	5. 11	5. 22	6. 3	並 み	1日遅	7. 25	8. 5	…	並 み	3日遅	94	△ 1
愛 知 県	5. 1	5. 24	6. 10	並 み	1日遅	7. 26	…	…	…	…	43	△ 1
尾 張	5. 3	5. 28	6. 14	並 み	並 み	7. 31	…	…	…	…	24	△ 1
西 三 河	5. 1	5. 19	6. 5	1日早	並 み	7. 22	8. 13	…	3日遅	5日遅	60	△ 2
東 三 河	4. 20	5. 17	6. 7	並 み	1日遅	7. 19	8. 12	…	3日遅	5日遅	61	△ 2
三 重 県	4. 17	5. 1	5. 19	並 み	1日遅	7. 18	7. 27	8. 12	4日遅	7日遅	97	△ 1
北 勢	4. 10	4. 30	5. 21	並 み	並 み	7. 14	7. 28	…	3日遅	6日遅	93	△ 2
中 勢	4. 16	4. 28	5. 16	1日早	並 み	7. 18	7. 23	8. 8	4日遅	6日遅	98	△ 1
南 勢	4. 16	4. 27	5. 14	並 み	1日遅	7. 14	7. 23	8. 2	5日遅	8日遅	99	0
伊 賀	5. 1	5. 9	5. 23	並 み	1日遅	7. 26	7. 31	8. 14	2日遅	5日遅	98	△ 1

- 注：1 田植期及び出穂期の始期、最盛期、終期とは、田植及び出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。
- 2 出穂期の「最盛期」及び「終期」の欄の「…」は、8月15日現在でそれぞれの期日に達していないことを示す。
- 3 出穂済面積割合の対平年差欄の「△」は、平年より少ないことを示す。

2 令和元年産水稻早場地帯の作柄概況（8月15日現在）

区 分	作柄概況（平年比較）				
	作柄の良否	穂数の多少	1穂当たり もみ数の多少	全もみ数 の 多 少	登熟の良否
三 重 県	やや不良	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良
北 勢	やや不良	やや少ない	平年並み	平年並み	やや不良
中 勢	やや不良	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良
南 勢	やや不良	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや不良
伊 賀	やや不良	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み

注： 本表における平年比較の表示区分は、「良・多い」が対平年比106%以上、「やや良・やや多い」が105～102%、「平年並み」が101～99%、「やや不良・やや少ない」が98～95%、「不良・少ない」が94%以下に相当する。

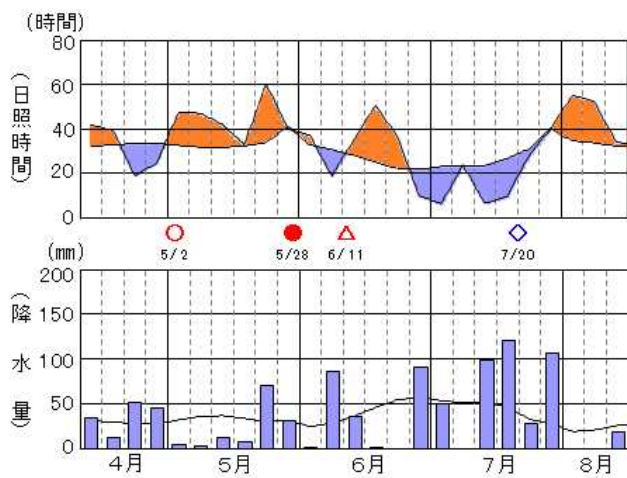
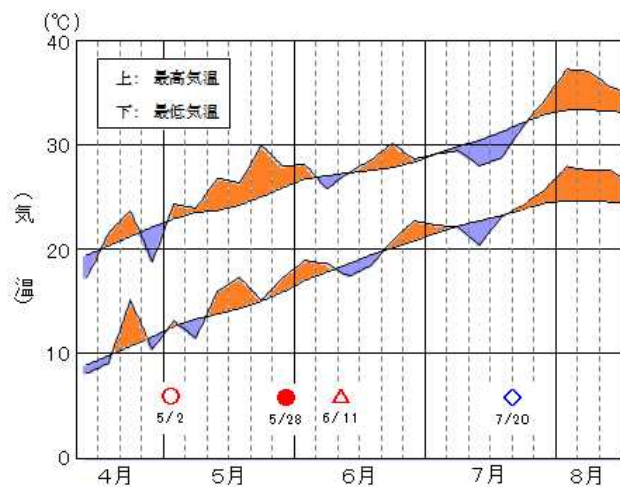
3 令和元年産水稻遅場地帯の生育状況（8月15日現在）

区 分	生育状況（平年比較）		
	生 育 の 良 否	草 丈 の 長 短	茎 数 の 多 少
岐 阜 県	平年並み	平年並み	平年並み
西 南 濃	平年並み	平年並み	平年並み
中 濃	平年並み	やや短い	平年並み
東 濃	やや不良	やや短い	やや少ない
飛 騨	平年並み	やや短い	やや多い
愛 知 県	平年並み	平年並み	やや少ない
尾 張	平年並み	平年並み	平年並み
西 三 河	平年並み	やや長い	やや少ない
東 三 河	やや不良	平年並み	やや少ない

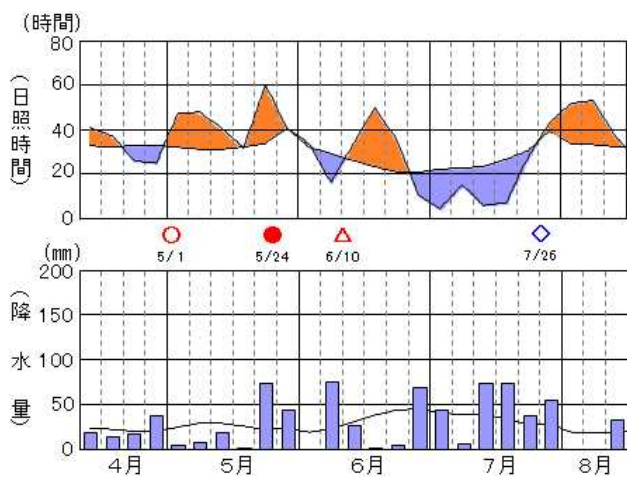
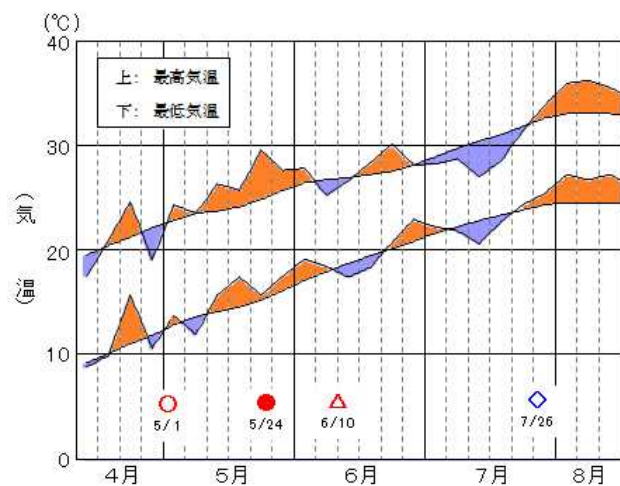
注： 生育状況は、草丈の長短、茎数の多少等の計測結果、生育の遅速、被害の発生状況及び一部のほ場における計測可能な穂数、もみ数等の計測結果等を総合して、8月15日現在における稲体の生育状態を調査したもので、作柄を予測したものではない。

◎ 参考データ

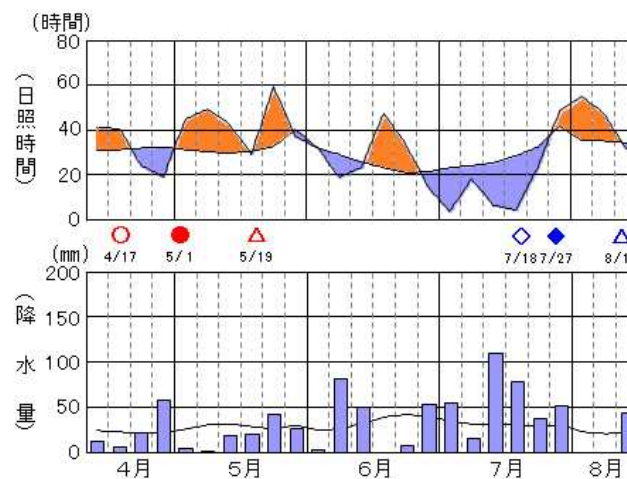
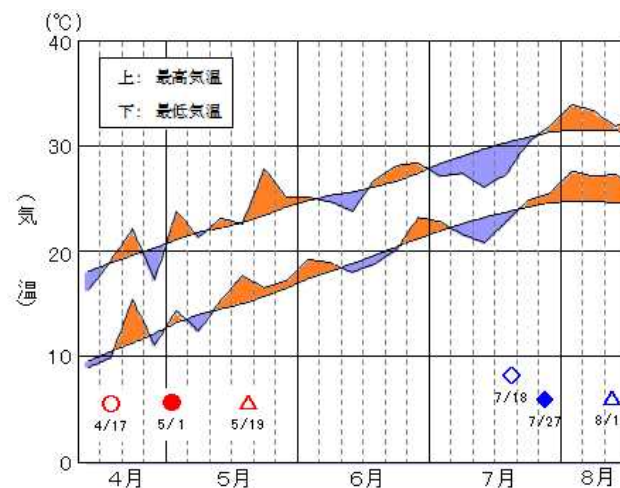
岐阜県の気象（岐阜地方気象台）



愛知県の気象（名古屋地方気象台）



三重県の気象（津地方気象台）



資料：気象庁「アメダスデータ」

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作柄概況調査として実施したものであり、水稻の生育・作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給見通しの策定、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象に、次表の区分に応じて実施している。

区 分	調査対象都道府県	備 考
早 場 地 帯	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、千葉県、新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、三重県、滋賀県、鳥取県、島根県	8月15日現在の出穂済面積割合が、平年ベースでおおむね8割以上を占める道県
遅 場 地 帯	早場地帯の道県以外の都府県 (岐阜県及び愛知県が該当)	

3 調査対象数（東海3県）

作況標本筆調査：625筆 作況基準筆調査：32筆

4 調査事項

は種期の遅速、田植期の遅速、活着の良否、草丈の長短、茎数の多少、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況及び耕種状況

5 調査期日

令和元年8月15日現在における水稻の生育・作柄概況を調査した。

6 調査・集計方法

職員又は統計調査員による作況標本筆及び作況基準筆に対する実測調査により行った。なお、職員又は統計調査員による巡回・見積りにより実測調査結果を補完して取りまとめている。

7 用語の解説

- (1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WCS用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米等を指す。
- (2) 「作柄の良否」とは、10a当たり予想収量が平年と比較して多いか少ないかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表している。
- (3) 「生育の良否」とは、草丈の長短、茎数の多少等の計測結果、生育の遅速、被害の発生状況等を総合して稲体の生育が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表している。
- (4) 「穂数の多少」とは、1㎡当たりの穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (5) 「1穂当たりもみ数の多少」とは、1穂についているもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (6) 「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (7) 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比

較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表している。

- (8) (4)から(7)までの平年比較とは、過年次の作況標本筆の実測調査結果から作成した1㎡当たり穂数等の平年値との比較である。

8 作柄表示地帯

水稻の作柄を表す区域として、各都道府県の地域を地形、気象及び栽培品種等により分割したものである。なお、東海3県の各作柄表示地帯の包括範囲は、下表のとおり。

区分	地帯名	包 括 市 町 村
岐阜県	西南濃	岐阜市、大垣市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、海津市、岐南町、笠松町、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町
	中 濃	関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町
	東 濃	多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市
	飛 騨	高山市、飛騨市、下呂市、白川村
愛知県	尾 張	名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町
	西三河 東三河	岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町、豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村
三重県	北 勢	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曽岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
	中 勢	津市、松阪市、多気町、明和町、大台町
	南 勢	伊勢市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町
	伊 賀	名張市、伊賀市

9 利用上の注意

- (1) 統計数値については、次の方法で四捨五入している。

原 数		6 桁 (10万)	5 桁 (1 万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100以下)
四捨五入する桁数 (下から)		2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前 (原数)	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値 (統計数値)	123,500	12,300	1,230	123

- (2) この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和元年産水稻の8月15日現在における作柄概況及び生育状況」(東海農政局)による旨を記載してください。

10 その他

本調査における作柄概況(8月15日現在)は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

【Webサイト掲載案内】

- この統計調査結果は、東海農政局Webサイトの「農林水産統計」で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/tokai/tokei/kohyo/index.html> 】

- 全国値の詳細は、農林水産省Webサイトの「統計情報」で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「米」の「作況調査（水陸等、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」に分類しています。

【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y2 】

【関連リンク】

- 農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞政策統括官

【 http://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/ 】

お問合せ先

◎本統計調査結果について

東海農政局 統計部 生産流通消費統計課

電 話：052-763-4732

F A X：052-763-4709

◎農林水産統計全般について

東海農政局 統計部 統計企画課

電 話：052-763-4730

F A X：052-763-4709



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)
<http://www.e-stat.go.jp/>



令和2年2月1日現在で、2020年農林業センサスを実施します。

○農林業経営体調査（令和元年12月中旬～令和2年2月末）

○農山村地域調査（令和元年12月上旬～令和2年2月末）

円滑な調査の実施に向けて、ご協力をお願いします。